

北部機械金属業界の景況動向

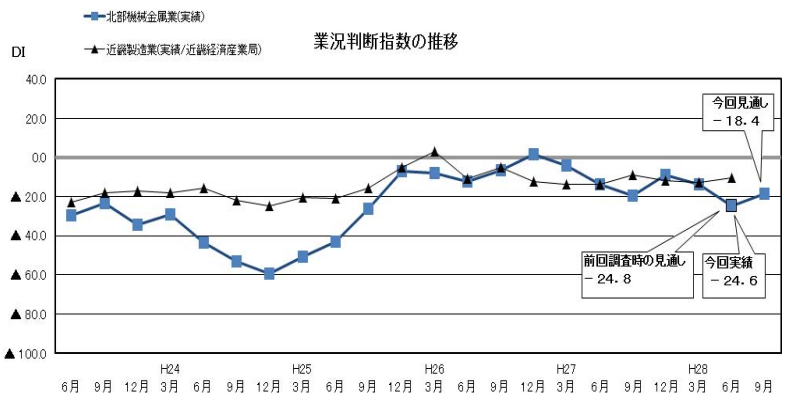
(2016年4~6月実績/2016年7~9月見通し)

- 調査対象：綾部市以北5市2町の機械金属関係企業179社 【調査時点 平成28年6月下旬】
- 回答数：127社（回答率70.9%、内訳は以下のとおり。）
 - ①市町別 = 福知山市:24、舞鶴市:21、綾部市:18、宮津市・与謝郡:13、京丹後市:51
 - ②取扱別 = 一般機械:48、電気機械:15、輸送機械:32、精密機械:12、その他:15、未回答:5
 (区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等 電気機械…家電部品、電子部品等
 輸送機械…自動車部品、船舶等 精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等
 - ③従業員数別 = 1~9人:35、10~19人:29、20~49人:38、50~99人:11、100人以上:13、未回答:1
- ※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：公益財団法人京都産業21北部支援センター】

— 調査結果 —

1 景況動向判断

●4~6月実績のDI(業況判断指数)は-24.6となり、1~3月期(以下「前回」)より11.0ポイント低下した(前回-13.6)。地域別では、福知山市域は-20.9(前回4.0)、舞鶴市域は-28.5(前回-5.0)、綾部市域は-38.8(前回-31.6)、宮津市・与謝郡域は-61.5(前回-36.4)、京丹後市域は-10.0(前回-14.0)と北部地域全体がマイナス域の結果となった。

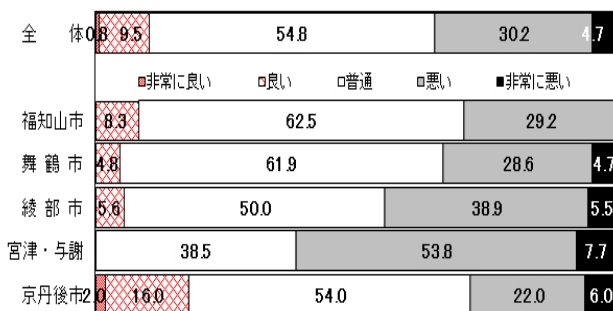


●7~9月見通しのDIは-18.4と、前回より6.4ポイント改善の見通しとなった(前回-24.8)。

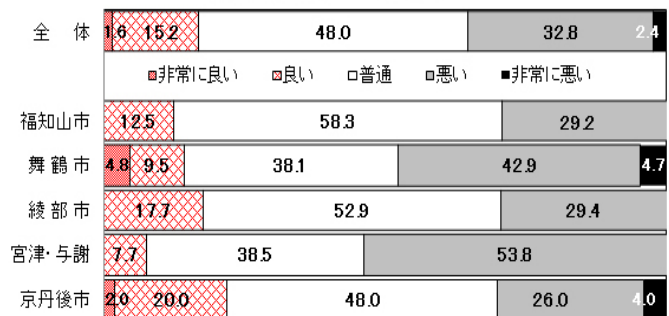
注：DI = (非常に良い+良い) - (非常に悪い+悪い)

地域別では、福知山市域は-16.7(前回-12.0)、舞鶴市域は-33.3(前回-30.0)、綾部市域は-11.7(前回-36.8)、宮津市・与謝郡域は-46.1(前回-45.5)、京丹後市域は-8.0(前回-20.0)であり、実績同様北部地域全体がマイナス域の見通しとなった。綾部市域、京丹後市域は前回と比べて改善の見通しとなっている。

景況動向判断4~6月実績



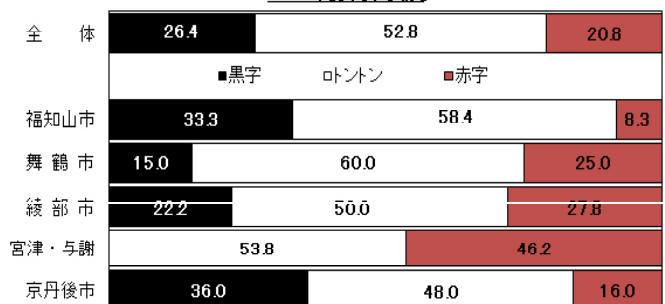
景況動向判断7~9月見通し



2 採算状況

●4~6月の採算状況は、赤字とする企業が20.8%(前回16.8%)と4.0ポイント増加した。地域別では、福知山市域、京丹後市域は黒字とする企業が赤字とする企業より多く、舞鶴市域、綾部市域は、赤字とする企業が黒字とする企業を上回っており、宮津市・与謝郡域においては、黒字とする企業が皆無であった。

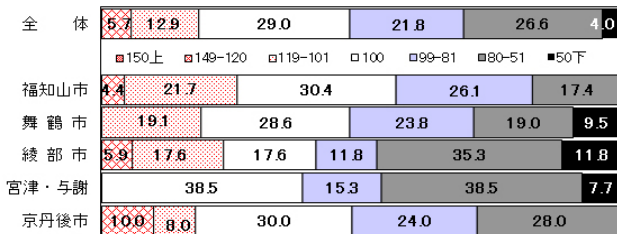
4~6月採算状況



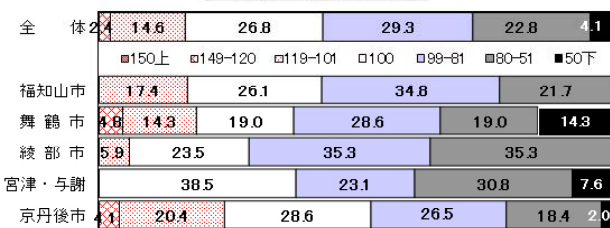
3 受注量

●4～6月の受注量は、対前年同期比100%以上を確保した企業は47.6%（前回56.1%）と8.5ポイント減少した。対3か月前比100%以上を確保した企業は43.8%（前回51.2%）と7.4ポイント減少した。前年比では福知山市域のみ、3か月前比では京丹後市域のみ5割以上の企業が100%以上の受注を確保している。

4～6月受注量(前年比%)

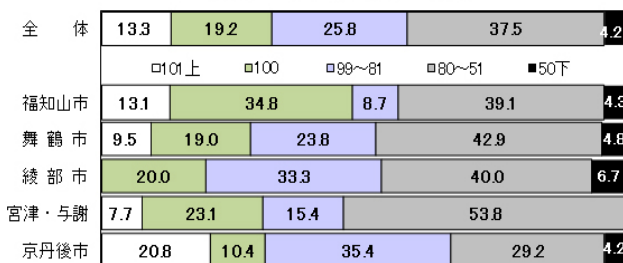


4～6月受注量(3ヶ月前比%)



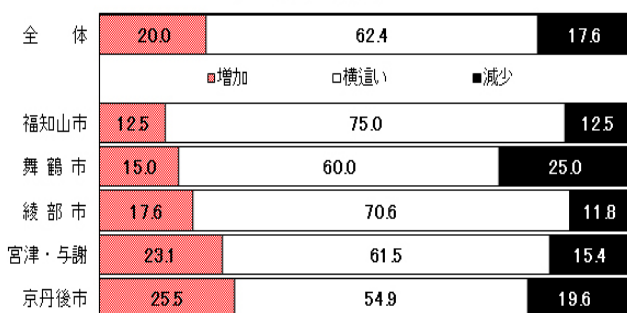
●4～6月の受注量（稼働割合）は、100%以上とした企業は32.5%（前回32.5%）と前回と同じであった。全地域において受注能力100%以上の受注確保が5割を割り込んでいる。

4～6月受注量(受注能力を100として%)



●7～9月の受注見通しは、増加を見込む企業の割合は20.0%（前回4.9%）と15.1ポイント増加し、減少を見込む企業の割合は17.6%（前回21.3%）と3.7ポイント減少の見通しである。

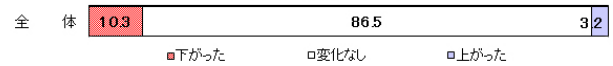
7～9月受注見通し



4 受注条件（受注単価／納期）

●受注単価が上がったとする企業は3.2%（前回2.4%）と0.8ポイント増加し、下がったとする企業は10.3%（前回14.5%）と、4.2ポイント減少した。また、納期が短くなったとする企業は19.4%（前回24.6%）と5.2ポイント減少した。

4～6月受注単価(前年比%)



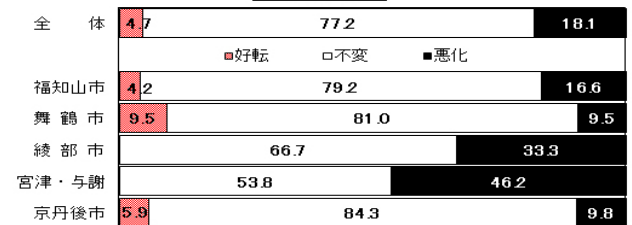
4～6月納期



5 資金繰り

●資金繰りは、悪化とした企業が18.1%（前回14.4%）と前回より3.7ポイント増加した。綾部市域、宮津・与謝郡域では好転とする企業が皆無であった。

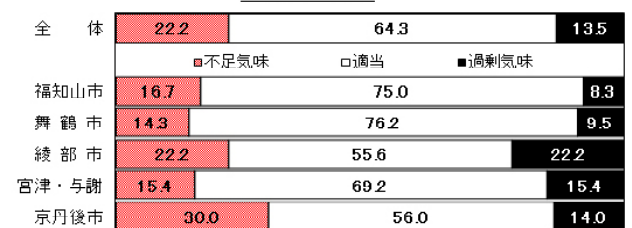
4～6月資金繰り



6 従業員数

●従業員数は、不足気味が22.2%（前回25.8%）、過剰気味が13.5%（前回14.5%）となった。福知山市域、舞鶴市域、京丹後市域では、不足気味とする企業が過剰気味とする企業を上回っている。

4～6月従業員数



7 今後事業で必要な支援

●今後事業で必要な支援は、全体で「人材面」とされる企業が39.4%と最も多く、「技術面」は22.0%、「資金面」は17.4%という結果となった。また、地域により必要な支援の内容が大きく異なる結果となった。

今後事業を進めるうえで必要な支援

